

科目名	成人看護Ⅳ (消化吸収・内分泌・代謝・排泄機能障害の看護)				DP1、DP2 DP3、DP4	看護高等課程	
学年	1年	分野	専門 成人看護	時間数	29時間	担当 教員	専任教員・外部講師
科目概要	看護職者として必要な消化吸収・内分泌・代謝・排泄機能に障害のある患者の看護について学ぶ。						
到達目標	1. 主な消化器疾患の看護の目的、特徴を知り、治療に伴う看護を理解する。 2. 主な代謝・内分泌疾患の看護の目的、特徴を知り、治療に伴う看護を理解する。 3. 主な腎・泌尿器疾患の看護の目的、特徴を知り、治療に伴う看護を理解する。						
回数	単元項目	授業内容			形態	担当教員	
1～4	消化吸収機能障害の看護	消化器疾患の基礎知識 消化器のしくみとはたらき、症状とその病態生理、おもな治療・検査・処置			講義	専任教員	
		おもな疾患 胃がん、大腸がん、肝硬変					
		患者の看護 共通する看護、症状に対する看護、検査を受ける患者の看護、消化器疾患患者の看護					
5～6		(外科治療) 人工肛門造設患者の看護、経皮内視鏡的胃瘻造設術を受ける患者の看護			講義	外部講師	
7～10	内分泌・代謝機能障害の看護	内分泌系疾患の基礎知識 内分泌器官のしくみとはたらき、栄養素代謝のあらまし、おもな症状と病態生理、おもな検査・治療・処置			講義	外部講師	
		おもな疾患 糖尿病（インスリン療法・食事指導・簡易血糖測定、血糖負荷試験）、痛風、高脂血症（メタボリックシンドローム）			講義 演習		
		患者の看護 共通する看護、内分泌疾患患者の看護、代謝疾患患者の看護、手術を受ける患者の看護			講義		
11～14	排泄機能障害の看護	腎・泌尿器疾患の基礎知識 腎・泌尿器のしくみとはたらき、症状とその病態生理、診察・検査とその介助、治療・処置とその介助、おもな手術			講義	外部講師	
		おもな疾患 腎不全（透析治療）、膀胱炎、膀胱がん					
		患者の看護 共通する看護、症状に対する看護、検査を受ける患者の看護、治療・処置を受ける患者の看護、膀胱瘻・腎瘻の管理、ウロストミーの管理、自己導尿の看護					
15	試験（1時間）				試験		
評価基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価方法	出席状況と講義への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	新看護学9 成人看護 [1] 成人看護総論 呼吸器 循環器 消化器 医学書院 新看護学10 成人看護 [2] 血液・造血器 内分泌・代謝 脳・神経 運動器 [特論]リハビリテーション看護 医学書院 新看護学11 成人看護 [3] 腎・泌尿器 女性生殖器 皮膚 アレルギー・膠原病 感染症 医学書院 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							